

相馬略		
A J -47	慶応3(1867)	Poll原著 川本清二郎訳
オランダの軍用馬学書の翻訳書。		

- ◆ 原書は、オランダ兵学校馬医であるポル(F.van der Poll) の、“Handleiding tot Paardenkennis” (1864) である。上下2巻からなる。上巻では馬の骨格、外貌、年齢、毛の色など、下巻では飼育法、蹄鉄、疾患などについて述べられている。

本書は江戸時代の西洋馬学書の中で最も図が多く、総計62図が収められている。そのために専門書として高い価値をもっている。特に馬の全身骨格と頸椎の図は、江戸時代において最も優れたものである。馬の外貌図も、骨格図と同じように、各部位に符号が付けられ、その符号に和名とオランダ名が併記してある。その他、馬の体形図、歯による年齢鑑定図（西洋式）、蹄と蹄鉄図など、我が国最初のものと考えられる図が多数収録されている。このような本書の内容から、明治以前にすでに我が国で西洋馬学が十分理解されていたことがわかる。

各巻の本文第1丁には、「訳者川本清二郎、川本幸民訂正、川本六太郎筆記」とある。このことから、この本が川本家一族による著作であることがわかる。上巻の本文の前には、幸民による凡例が付いている。

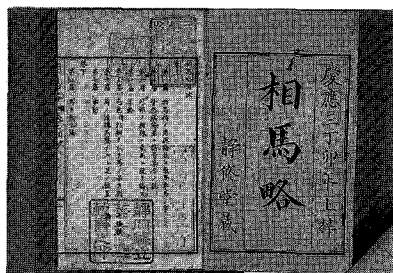
- ◆ 当館所蔵本は、「箱館御役所」「駿府学校」「静岡師範学校」の印記をもつ。虫損はほとんどなく、保存状況はきわめてよい。

当館所蔵の諸術調所及び箱館奉行所旧蔵の資料は、25～35で紹介した以外に以下のものがある。

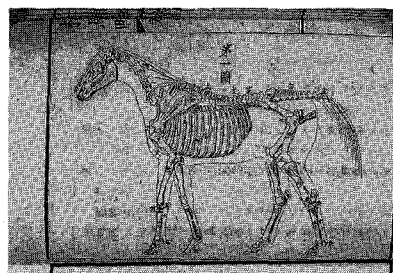
請求記号	書名	刊年	請求記号	書名	刊年
①AJ-20	海叢誌	嘉永2(1849)	⑥AJ-26	臥榻兵話	文久3(1863)
②AJ-23	提綱答古知幾	不 明	⑦AJ-27	幕氏兵論	文久3(1863)
③AJ-40	火技全書図	安政2(1855)	⑧AJ-36	六版塙氏砲論	慶応2(1866)
④AJ-42	信管裁断表	安政6(1859)	⑨AJ-45	斯篤魯默児砲夷論	慶応1(1865)
⑤AJ-44	増補砲射擲表	嘉永6(1853)	⑩AF-205	仏語箋	不 明

旧蔵機関は①～⑤が諸術調所、⑥～⑩が箱館奉行所である。

これらの資料については「県立中央図書館蔵 諸術調所・箱館奉行書旧蔵瞥見」(『葵』12号 所収(SZ01-3))に簡単な紹介がある。



35 相馬略



35 相馬略